

# TS・GNSS測量管理システム

株式会社 トプコン  **TOPCON**

NETIS登録No. KT-060150-V

- ◆「GNSS受信機」「自動追尾トータルステーション」による3Dデータを利用した工事測量
- 3次元設計データを用いた計測及び誘導システム

ひとつのコントローラで「GNSS受信機」「自動追尾トータルステーション」に接続が可能。「現況測量」「杭打ち」「出来高計測」「土量計算」等が可能です。  
「設計データ」と「背景図(平面図)」をコントローラに表示可能。図面上のどの位置にいるのかが、リアルタイムに分かり、現況測量も効率良く作業性が向上します。



GNSS (RTK・VRS対応)

データコレクタ (共通)

自動追尾トータルステーション



杭打ち画面

ポイントまでの  
残り距離が  
リアルタイムに  
確認可能

横断面までの  
残り距離が  
リアルタイム  
に確認可能



現況測量画面

基点からの距離・からの離れが求められます。

画面をみながらリアルタイムに観測できます。

◆出来形チェック

◆土量計算

◆現況測量

- ・ワンマンであらゆる作業に対応
- ・任意点で設計値との比較が可能
- ・マシンコントロールや転圧管理への拡張も可能

◆丁張り

◆切土／盛土管理

◆測設(杭打ち)

平成24年度 準推奨技術 (新技術活用システム検討会議 (国土交通省))

“3次元設計データを用いた計測及び誘導システム”を使用し  
有用な新技術で評価点UP!



# TS

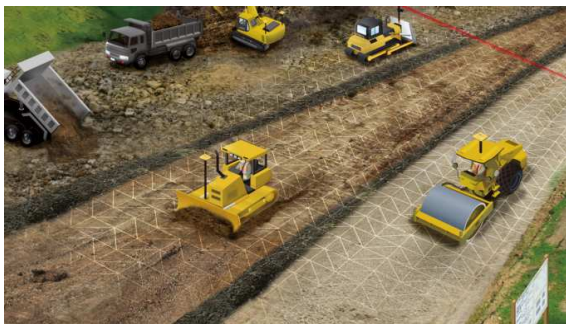
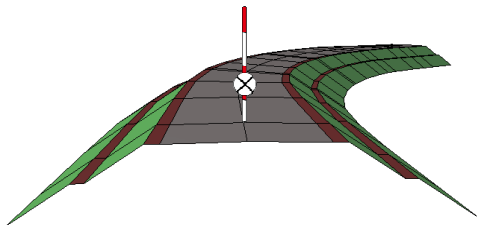


# GNSS

## 現場状況により最適な測量方法を選択！

### 【測量の流れ】

1. 設計データを作成する
2. 設計データをコントローラへ読み込む  
設計データとは：
  - ・ 既知点、杭打ち点
  - ・ CAD図面
  - ・ 三次元設計面
  - ・ 道路線形、横断
3. コントローラにリアルタイムに表示される情報を見ながら測量する  
可能な計測方法は：
  - ・ プリズム自動追尾
  - ・ ノンプリズム スキャン計測
  - ・ ノンプリズム 自動計測 など
4. 測量結果レポート、図面を作成する



## NETIS

3次元マシンコントロールシステム  
3D-MC

登録番号：KT-990421-V

### 【計測誘導システムの特長】

- ・ 一人で測量作業ができる。
- ・ プリズム、ノンプリズムの両方の計測ができる。
- ・ 重機と同じ三次元設計面を使用し、重機施工の検測を迅速に行う。
- ・ CAD図面に重ね合わせて測量している位置を表示できる。
- ・ CAD図面を利用して測量できる。
- ・ 危険な法面などはノンプリズムでスキャン計測ができる。
- ・ 工事中の動態観測のため自動計測ができる。
- ・ 現況合わせでMC/MG用の三次元設計面を作成できる。
- ・ 測量計算、土量計算ができる。
- ・ 測量結果をDXF、CSVなどのフォーマットで出力できる。
- ・ トータルステーションでもGNSS受信機でも同じ操作性で使用できる。



マシンコントロールや転圧管理システムへも拡張！

HiPerVはマシンコントロール、  
マシンガイダンスの固定局として  
また、検測等に活用できます。

### こんなにあるGNSSの活用メリット

- ・ 簡単に3次元座標取得！
- ・ 視通不要、天候や夜間に左右されず！
- ・ 復元したい杭を1人で簡単誘導！
- ・ 1人で簡単 横断観測！
- ・ トータルステーションと簡単に併用が可能！



現場状況により最適な測量方法を選択！

Wi-Fiテザリング・VRS対応（スマートフォンで可能）